

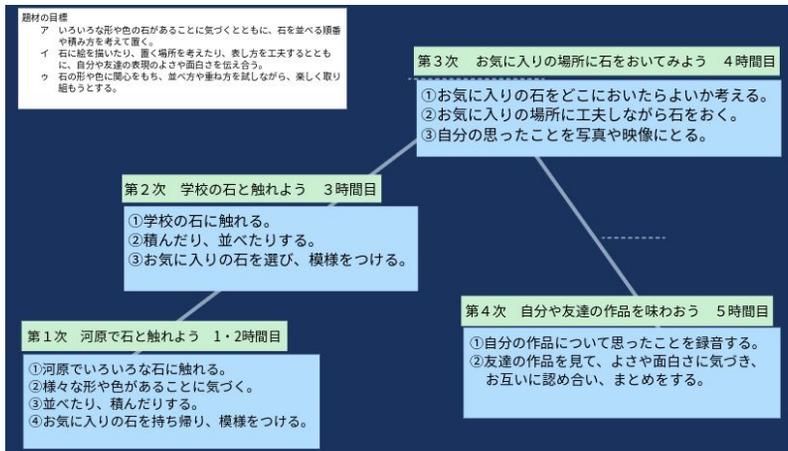
提案発表 造形遊びをする活動部会 (下学年)

高志小学校 後藤 紀子

はじめに

- ・1年生23名。図画工作科、意欲的に取り組む。
 - ・取り掛かりに時間がかかり、その後の制作時間に余裕がなくなり、自分の思いを十分に表現できない児童もいる。
- そこで
- ・思わず身を乗り出してしまう材料との出会いの場
⇒のびのびと活動する楽しさを
 - ・河原での自然物との出会いの場 ⇒ダイナミックな造形活動にチャレンジ

題材1『おきにいりの いしで』



河原で石に触れよう

自然の河原の石の形状は様々
比べる・集める・並べる・積むなど
活動方法は無限

自然の中に転がる魅力的な石と出会い、
時間も十分に確保し、思う存分活動

(わくわくする場の設定)





活動のひろがり...石同士をこすり合わせる、たたく、集める、並べる、積む

仲間のひろがり...一人の活動から、友達との活動へ

会話・ともに挑戦することでお互いを感じ合う

じっくり石と向き合う ⇒ 表現活動の選択肢が広がる ⇒ 自分のしたいことが明確に



友達の作品がヒントになって



学校の石と触れよう

「石でもっと遊びたい。」
という声。

前回の経験からか、
友達と一緒に活動する児童が
多かった。

学校では、石の種類や活動範
囲には限りがある。

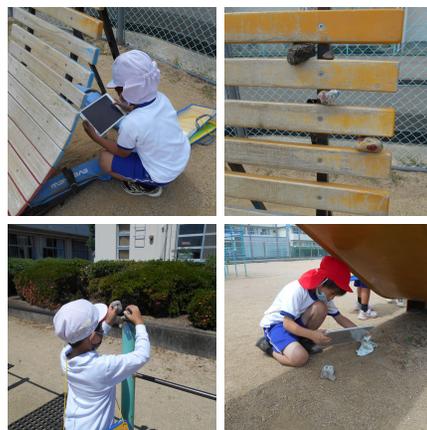


お気に入りの場所に 石をおいてみよう

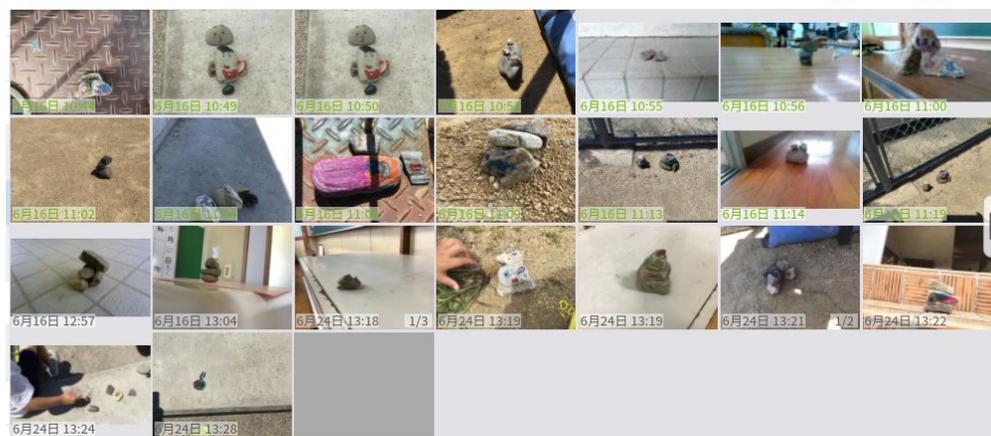
お気に入りの石には、マジックでペイント
お気に入りの場所で写真を撮り、友だちに紹介
(楽しさが広がる授業づくり)

運動場・教室・通路など様々な場所を
自ら選択して、自分の思いを表現。
(わくわくする場の設定)

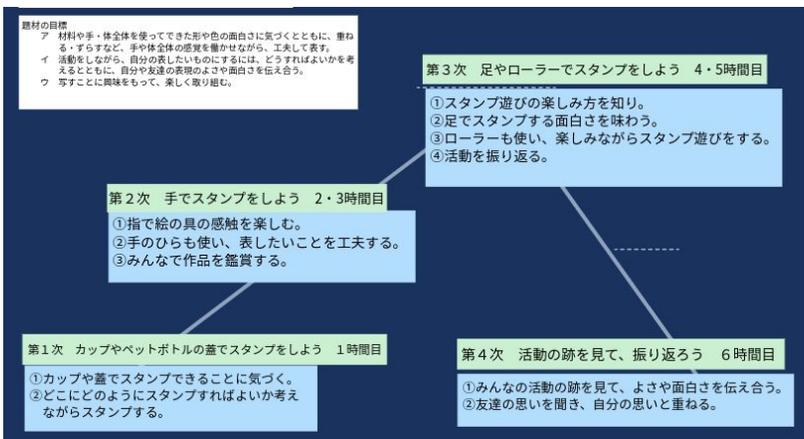
授業づくりの上での教師の声かけ



自分や友だちの作品を味わおう(互いに感じ合う)



題材2 スタンプ スタンプ

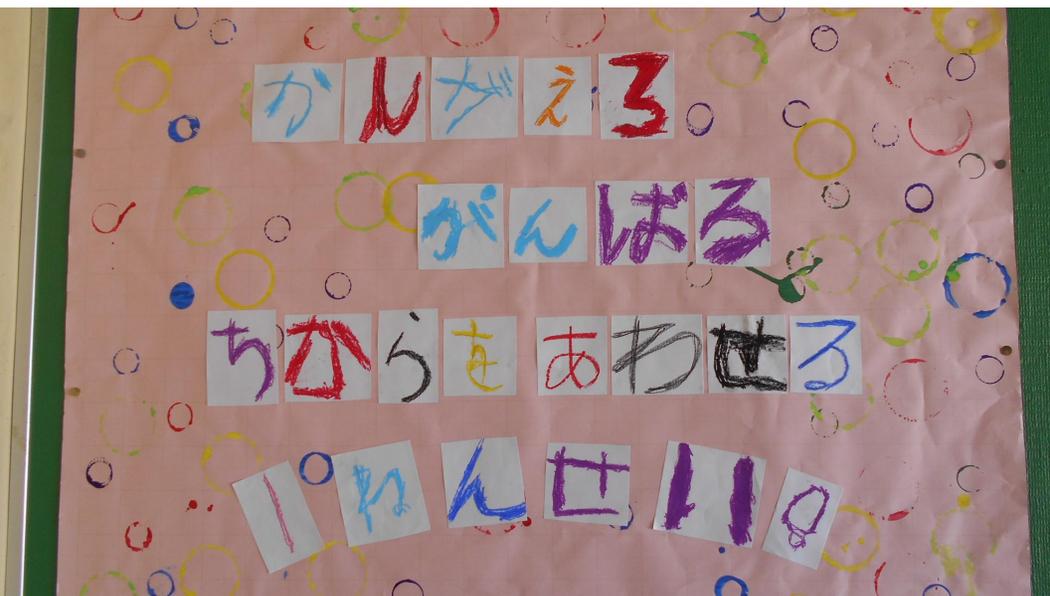


カップやペットボトルの蓋でスタンプしよう

学級目標掲示用の模造紙にスタンプ

スタンプできる範囲に限りがあり
「もっとしたいなあ。」
という声がこぼれていた。





手でスタンプしよう

3~4人が1つの机
(お互いを感じながら)

友達と会話
友だちの作品をヒント
(有効な支援)



足やローラーで スタンプしよう

足型とローラーの線が重なった偶然の表現
足型を除けるように線をひく意図的な表現

自由に発想を広げ表現することの面白さや楽しさを味わった

順番待ちをすることで
友達の様子を見てイメージを広げる
表現方法の確認

おわりに

